

# 中筋川ダムにより河川水位を低減 ～平成29年10月台風22号における速報～

**182mm(時間最大21mm)の雨**

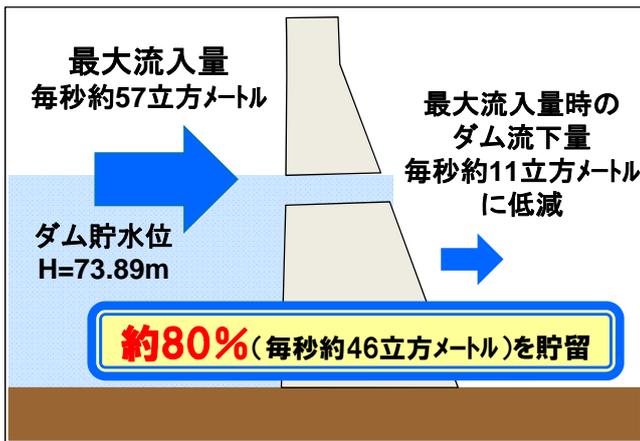
中筋川ダム上流域において、10月27日23時～10月29日12時にかけて **累計約182mm(時間最大約21mm)**の降雨となりました。

**洪水貯留準備操作により中筋川ダムの貯水位を約1.9m低下**

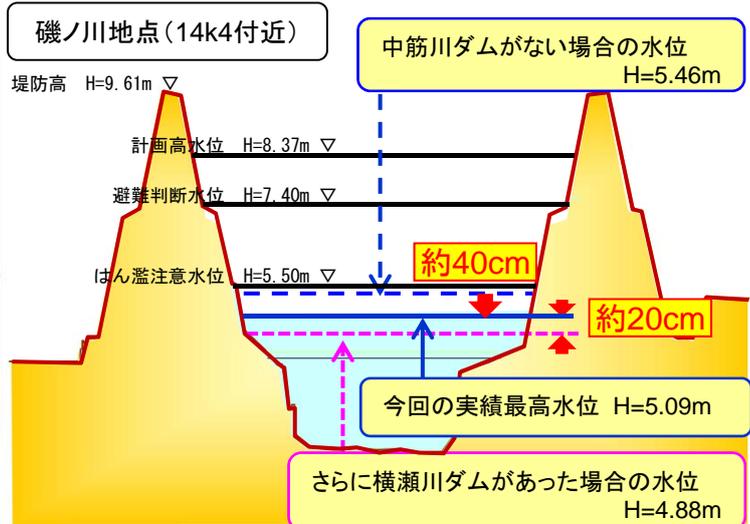
**洪水を貯留する容量を増やすため**、平成29年10月26日10時00分から洪水貯留準備操作を行って貯水位をH=72.59mから**約1.9m低下**させました。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したもの(承認番号 平23四複、第84号)を一部転記したものである。



中筋川ダムの防災操作状況  
(10月29日11時30分)



※上記(H:量水標)の値に0.577mを加えた値が標高(m)となります。

**中筋川ダムにより約80%を貯留**

中筋川ダムへの最大流入量**毎秒約57立方メートルの約80%を貯留**し、ダム流下量を**毎秒約11立方メートルに低減**しました。

**中筋川ダムにより河川水位を約40cm低減**

中筋川ダムの防災操作により、**磯ノ川地点で約40cm水位を低減**させました。

建設中の横瀬川ダムが完成していた場合は、**更に約20cmの水位低減効果が期待**できます。



磯ノ川地点(10月29日11時30分撮影)

※本資料の数値等は推定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

# 中筋川ダムにより河川水位を低減 ～平成29年10月台風22号における速報～

中筋川ダムの防災操作後の状況 貯水位H=74.48m



(10月30日9時撮影)

※1,209千m3は10/29  
の0:00～18:00に貯留  
した水の量です

中筋川ダムの防災操作前の状況 貯水位 H=72.02m



(10月29日8時撮影)